

激しい合戦と厳しい国境越えは、文学のみちにつながる。



銀の道 CYCLING MAP



凡例

- 銀の道 (サイクリング)※
- 駐車場・駐車可能場所
- トイレ
- 主な施設
- トイレ(車いす可)
- レストラン・食堂

※銀の道に最も近いと思われる車道をサイクリングコースに設定していますので、本来の銀の道とは異なる場合があります。

「銀の道」の大部分は、地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

路上にて 銀の道最大の難所で国盗り合戦★

銀山街道の最大の難所と言われる標高680mの赤名峠(10)。かつては、出雲国と備後国が協力しあって物資を運んでいた歴史もある。そんな赤名峠で毎年4月、「国盗り綱引き大会」というイベントが開かれている。山頂にたずむ出雲国・備後国の当時の国境を示す石碑をバックにして、小学生から大人までの計6チームが綱引きで対戦。なんと勝利した側に「国境が動いてしまおう」というルールだそうで、国の威信と領土を賭けた、地域住民の熱い戦いが繰り広げられる。



1 九日市の本陣跡
早朝大森を出発した輸送隊は、日暮れ時に九日市に着く。第一夜を迎える宿場には、本陣「原田屋」と脇本陣「鍛冶屋」があった。

3 橋台として使われた岩
かつてここに土橋があった。その橋の橋台として利用されていたという岩が、新しい橋の下に残されている。

2 馬頭観音
観音菩薩の化身の一つ。江戸時代には家畜の守護神であり、旅の安全を守る菩薩でもあった。供養のために建てられたものも多い。

4 酒谷の口番所跡
出雲との国境となるこの番所には、他の番所ではあまり例のない、門が道をまたぐようにして建てられているという。

6 京楽院
戦国時代、真言宗布教のために訪れた権大僧都京楽院徳有は、尼子・毛利の戦で苦しむ多くの村人たちを救ったと伝えられている。

8 瀬戸の一里松跡
広島と松江の中間点にあたる瀬戸には一里松があった。松くい虫被害のため切り倒され、今は民家の裏にその切り株が残っている。

10 赤名峠
出雲と備後の国境で、昔から難所として知られていた。当時の街道は、赤名トンネル手前から急な坂を上るように進んでいた。

5 境木
出雲の国と石見の国との国境を示す標木。1826年に立て替えたという記録もある。傷みがひどく朽ちていたため、2006年に復元された。

7 赤名の道標
銀の道は赤名で出雲大社への参詣道として整備された。出雲街道と合流する。街道脇には、1856年代に建てられた道標が残っている。

9 北野の馬頭観音
街道は、いよいよ赤名峠にさしかかる。その坂の口に、旅人の行路安全を祈る馬頭観音が残されている。

11 万右衛門の墓
魚売り万右衛門が磯五郎に殺され金を奪われた事件は、現場が藩境で天領にもからみ、解明が難しかったという記録が残っている。

この地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て同院発行の5万分の地形図を使用した。承認番号平23地保第75号